

令和3年度 せいかつアンケート

全学年

全学年

そう思う…A, だいたいそう思う…B
あまりそう思わない…C, そう思わない…D

項目	集計 (人)				集計 (%)			
	A	B	C	D	A	B	C	D
1 「早寝, 早起き, 朝ご飯」ができています。	60	45	15	1	50	37	12	1
2 自分からすすんであいさつをしている。	80	32	9	0	66	26	7	0
3 お家の人と話し合い, 時間を決めて, テレビをみたり, ゲームをしたりできている。	48	41	25	7	40	34	21	6
4 お家で, 学校であったことをはなしている。	67	36	13	5	55	30	11	4
5 宿題は, 必ずしている。	99	19	2	1	82	16	2	1
6 学校は楽しい。	76	37	7	1	63	31	6	1
7 友達がいやがることを, したり言ったりしないようにしている。	60	53	7	1	50	44	6	1
8 ていねいな言葉づかいができています。	40	61	18	2	33	50	15	2
9 授業は, よくわかり楽しい。	59	53	6	3	49	44	5	2
10 授業中, すすんで手をあげている。	55	39	20	7	45	32	17	6
11 タブレットパソコンを使う学習に, 進んで取り組んでいる。	88	28	4	1	73	23	3	1
12 授業中, 先生や友だちの話を聞いている。	67	41	13	0	55	34	11	0
13 休み時間, 運動場にて遊んでいる。	81	26	10	4	67	21	8	3
14 先生にそうだんや, いろいろな話をしている。	41	51	24	5	34	42	20	4
15 先生は, 自分ががんばったときにほめてくれる。	73	41	4	3	60	34	3	2
16 協力して, まじめにそうじをしている。	80	37	2	2	66	31	2	2

※端数処理の都合で合計が100%となっていないところがあります。

1 「早寝・早起き・朝ご飯」は, 肯定的87%。昨年度比+16ポイント。昨年度より肯定的な回答をした児童の割合がかなり増えている。一方で, あまりできていないと回答した一割強の児童には個別の支援が必要である。

2 「あいさつ」は, 肯定的92%。昨年度比-3ポイント。「進んで」挨拶をするように意識付けるとともに, 時と場, 目的に応じた挨拶ができるようにレベルアップを図りたい。

3 ゲームやテレビの時間を守るについては, 肯定的74%。昨年度比+4ポイント。否定的な回答は中学年に多い。「1」の結果と合わせ, 基本的な生活習慣が整わず, 学習や生活に影響が出ている可能性がある児童が1/4程度いる。日々の健康チェックや声かけにより安定して生活ができるよう支援する必要がある。

4 家で学校の様子を話している, 肯定的85%。昨年度比+5ポイント。上学年で否定的な回答の割合が多くなる傾向がある。悩みや不安などを家庭や学校で十分伝えることができていない可能性があるため, 行動観察やアンケート等の活用や家庭との連携により, 問題の早期発見・早期対応に努める必要がある。

5 宿題はしている, 肯定的98%。昨年度比+2ポイント。否定的な回答をした児童の個別指導を引き続き行う。

6 学校は楽しい, 肯定的94%。昨年度比±0。個別の状況を分析し, 支援を継続していく。

7 友達がいやがることをしない, 肯定的94%。昨年度比+7ポイント。否定的回答の児童に注意。自覚していない児童への指導も必要である。

8 ていねいな言葉づかい, 肯定的83%。昨年比-3ポイント。一昨年度に引き続き否定的な回答が増えてきている。全校で共通理解をして指導を続ける。

9 授業が楽しい, 肯定的93%。昨年度比+3ポイント。学習の振り返りについて, 継続して研究・実践を行う。

10 進んで挙手, 肯定的77%。昨年度比+5ポイント。改善傾向は見られるが, 学年によって回答に差がでている。「浦庄スタイル」を合い言葉に, 全校で共通理解をして取組を継続する。

11 タブレットの活用については, 肯定的な回答が96%。児童の意欲が高いことがうかがわれる。タブレットPCの効果的な活用方法を研究し, 児童の学力向上に生かす。

12 話をきちんと聞く, 肯定的89%。昨年度比-4ポイント。「聴く, 話す, 学び合う」, 「浦庄スタイル」について具体的な方法を見直し, 共通理解して取組を進める。

13 進んで外で運動している, 肯定的88%。昨年度比+7ポイント。コロナ禍の中で工夫した取組が求められるが, 感染状況の把握や感染対策をした上でできる運動の工夫を行い。児童の運動機会の確保に努める。

14 先生に相談している, 肯定的76%。昨年度比±0。悩みや不安などを相談しづらい児童が1/4程度いることから, 行動観察やアンケート等を活用し, 児童理解や問題の早期発見・早期対応に努める。

15 先生が褒めてくれる, 肯定的94%。昨年度比+4ポイント。肯定的な回答が多い。ポジティブ支援を継続する。

16 まじめに掃除をしている, 肯定的97%。昨年度比+4ポイント。無言清掃が自分磨きとなっているか, 児童の意識をさらに高めていく。